

# 保護者アンケートの結果のお知らせ

令和3年1月13日

平和こども園

園長 藤谷 昌宏

保護者の皆様には、日ごろよりこども園の教育・保育活動にご理解・ご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。さて、12月に行いました「保護者アンケート」の集計結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

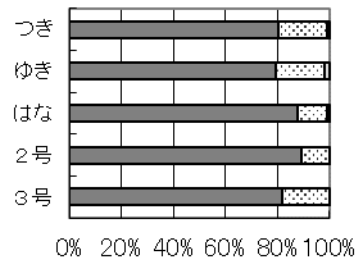
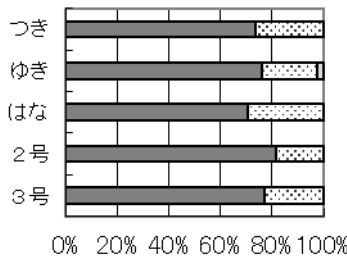
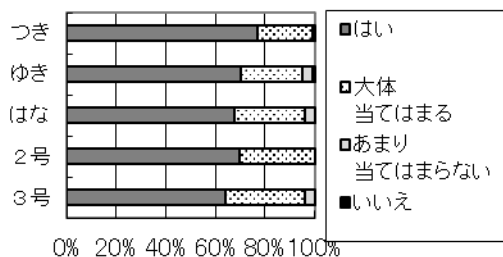
アンケート回収率／ りす・こあら・うさぎ（3号）：100%、 ひつじ・ぱんだ・きりん（2号）：96.6%、 はな（1号）：99.1%、 ゆき（1号）：99.2%、 つき（1号）：95.8%

※参考 R1年度の回収率 3号91.9%、2号93.8%、はな99.2%、ゆき96.6%、つき96.6%

H30年度の回収率 3号98.6%、2号85.2%、はな96.7%、ゆき97.4%、つき95.7%

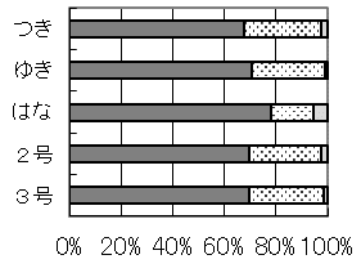
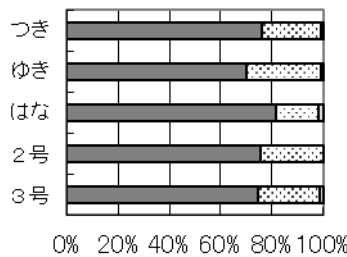
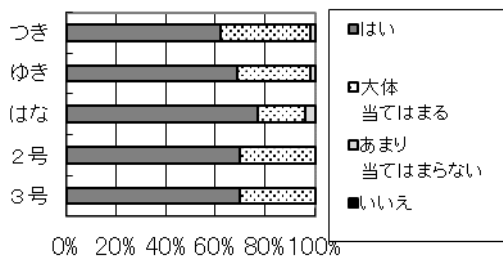
## 子どもは

- 1 子どもさんはこども園に行くのを楽しみにしていますか
- 2 子どもさんはこども園で好きな遊びを楽しんでいるようですか
- 3 子どもさんはクラスの担任を頼りに（信頼）していますか



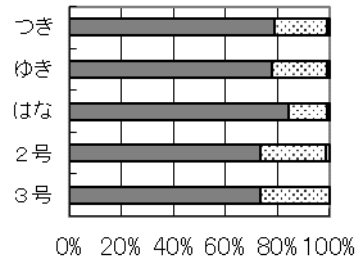
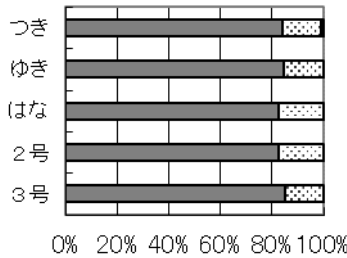
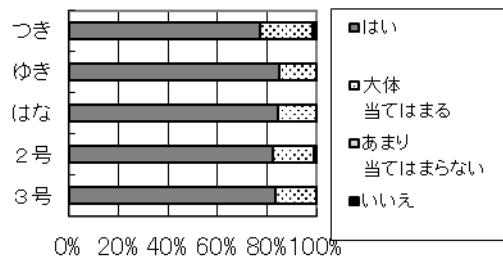
## 教職員は

- 1 保育者は子どもさんのこども園での生活をよく見えていますか
- 2 保育者は子どもさんの健康や安全面について気をつけていますか
- 3 保育者は子どもさんのことで保護者と連携を取っていますか



## こども園は

- 1 こども園は行事の内容や取り組み方法を工夫していますか
- 2 こども園は基本的な生活習慣や学習の基礎基本を身に付けさせていますか
- 3 こども園の雰囲気がよく、教職員が生き生きしていますか



「保護者アンケート」へのご協力、ありがとうございました。本年度は始まって早々に国から緊急事態宣言が発出されるなど、「新型コロナウイルス対策」に追われた年でした（まだまだ心配な状況ですが）。4～5月は、毎日のように国や市から通知が届き、その内容も次々に変わっていったので、保護者の皆様には大変なご心配やご迷惑をおかけしました。

アンケートでは、「コロナという初めての経験の中、年度当初は混乱していましたが、市と園の対応が異なり、その都度前後してくるメールがどちらを信じればいいのか分かりづらく、余計心配になりました。対応が異なるのは仕方ないですが、混乱しないような明確な情報がほしかったです。園と市の対応が違う場合も、市の連絡も流さないといけないかもしれませんが、『平和はこうだから大丈夫です』など、園の方を信じられるようにしてくれると嬉しかったです。<ゆき組>」というご意見をいただきましたが、全くそのとおりと反省しました。この教訓を今後に生かしていきます。

しかし、そういう中であっても、左のグラフでは45項目（質問項目9×5集団）中の43項目で、「はい」と「大体当てはまる」の合計が95%以上になりました。また、いずれも1%未満ですが、「いいえ」があったのは、45項目中3項目だけでした。

皆様にいただいたご意見の中にも、「今年はコロナ禍の中、様々な対策を施して行事に取り組んでいただき、ありがとうございました。園最後の年ですが、いろんな事を諦める覚悟でしたが、よかったです。<つき組>」「コロナの状況下でいろいろな制約がある中、子どもたちのために一生懸命行事を開催してくださって感謝しております。私達にとっては平和こども園が浜松一のこども園です。<きりん組>」「幼稚園へ通い出してから、家での様子や友達への接し方や遊び方が、見違えるほど変わりました。本当にありがとうございました。コロナで園での様子を見る機会が少ない分、YouTubeで見ることができて嬉しいです。<はな組>」「小さい時から入園させることに寂しさや罪悪感もありましたが、家では苦手だったお昼寝ができるようになるなど、小さくても家とはまた違った姿で社会生活を送っている息子を誇らしく思い、家での時間を大切にしようと思えます。先生が息子をすごく可愛がってくれる姿を見ると、親以外にも我が子の成長を見守り、愛情を注いでくれる人がいる有難さと心強さを感じています。<りす組>」など、数多くの励ましの言葉をいただきました。

なお、左のグラフといただいたご意見をすべて読んだ上で、私の考えを4点書かせていただきます。

### ①コロナ禍という有事の中での園の対策をご理解いただきたい

園としても「例年どおりに行事を行いたい」と、心底から思っています。しかし、刻々と変わる現在の状況下では、それは難しいことをご理解いただきたいです。また、多くの保護者がいるので、ご意見も様々です。例えば人数制限にしても、「音楽会で入場するとき密になっていたのでは、今後コロナが落ち着くまでは、さらに人数を減らして入場した方がいいと思いました。<つき組>」というご意見の一方で、「卒園式は子どもにとっても、大人にとっても1回きりなので、状況にはよると思いますが、親子（両親）で参加すべきものと思いました。残念です。<きりん組>」という考えの方もいます。

園としては、今後も「子どものために」を最優先して、どうすべきかを判断していきたいと思えます。

### ②「子どものマスク着用」について

2020年8月25日、WHO（世界保健機関）とユニセフは、マスク着用のメリットとデメリットを考慮し、「5歳以下の子どもは必ずしもマスク着用にこだわらなくてよい」という見解を出しています。（<https://japan-who.or.jp/news-releases/2008-10/>）

この見解に基づき、平和こども園では「子どものマスク着用」はご家庭の判断にお任せしています。

### ③保護者のマナーで、子どもの安全・安心を守りましょう！

「保護者の方の交通マナー等、再認識してほしいと思う（自分自身も）。降園時はスムーズに帰宅できるように、他保護者も意識してほしい。保育園に預けている以上、早く帰宅したいと思わないか疑問です。<ぼんだ組>」「送迎時、チャイルドシートをしっかりと装着してないのではないかと思われる車を見かけることがあります。また、園の門のロックを園児が解除していることもあります。子どもの安全を守るために、まずは親や家族が基本的なルールをしっかりと守るべきだと感じます。<ひつじ組>」

子どもは親のマナーを見て育ちます。子どもの安全・安心を守るためにも、保護者の皆様にはぜひご協力をお願いします。

### ④職員のさらなる「資質向上」に努めます

「子どもの名前を呼び捨てで言う先生がいるようです。どの先生にも“くん、ちゃん”付けで呼んでいただきたいです。<ゆき組>」「バスの送迎時にムスッとした顔で、怒ってるのかな、ちょっと怖いなあと思う先生がいます。<ゆき組>」などのご指摘がありました。3学期最初に、私から職員全員に話をしました。

不足している点もありますが、平和の職員は全員が、さらに向上したいという気持ちをもっています。今後もお気づきの点がありましたら、遠慮なく連絡していただきたいと思えます。（園長 藤谷昌宏）